

授業科目名	看護とリスクマネジメント			担当教員	倉岡 有美子	
開講年次	2 年前期	セメスター	3		時間数(単位数)	15 (1)
必修選択	必修	授業形態	講義		使用教室	
授業の目的	医療現場におけるリスクの特性やヒューマンエラーに関する基礎知識を学習し、看護業務におけるリスクの予見と対応方法を理解する。					
到達目標	1. 医療安全についての概要を知り医療安全を学ぶ意味を説明できる。 2. 医療現場で起こりやすい医療事故について危険を予知し、対策を立案できる。 3. 医療事故発生のメカニズムと事故後の対応について説明できる。 4. 医療事故防止のためのコミュニケーションスキルについて説明できる。 5. 実習中に看護学生に求められるリスクマネジメントについて考察できる。					
ディプロマポリシーにおける科目の位置づけ	レベルⅡ～Ⅴの看護学実習において看護学生として主体的に医療安全に取り組むための基盤となる知識を養う。特に、患者の人としての尊厳と権利を擁護する力、チームで働く力を培うことを目指す。また医療安全は、職域を超えてチーム全体で取り組む必要があり、施設全体で医療安全を考えていくために、3 年次の「看護管理」で継続的に学習していく。					
ディプロマポリシーとの関連	人間の尊厳と権利を擁護する力	自己教育力	チームで働く力	問題解決力	看護の専門性を探究する力	
	○		◎			
授業計画						
回	授業内容	授業方法	学修課題 (予習・復習)	取組時間	担当者	
1	医療安全とリスクマネジメントの概念 1) 医療安全と看護の理念 2) 医療安全への取り組みと医療の質の評価	講義	予習：テキスト第 1 章第 2 章を読み、インシデント・アクシデントの定義を調べておく。	60 分	倉岡	
2	起こりやすい医療事故と対策1 【診療補助編】危険予知訓練 (KYT)	講義 演習 (GW)	予習：テキスト第 5 章を読んでくる。	60 分	倉岡	
3	起こりやすい医療事故と対策2 【日常生活援助編】危険予知訓練 (KYT)	講義 演習 (GW)	予習：日常生活援助実習におけるヒヤリ・ハット事例を振り返る。	60 分	倉岡	
4	医療事故の発生のメカニズムとリスクマネジメント	講義	予習：テキスト第 3 章を読んでくる。	60 分	倉岡	
5	医療事故後の対応 医療従事者の安全を脅かすリスクと対策	講義	予習：テキスト第 7 章第 8 章を読んでくる。	60 分	倉岡	

6	医療安全とコミュニケーション (Team STEPPS)	講義 演習 (GW)	予習：事前に配布する資料を読ん でく る。	60 分	倉岡
7	医療事故に対する看護師の法的 責任と倫理的課題	講義	予習：テキスト第 1 章を読ん でく る。	60 分	倉岡
8	看護学生の実習と医療安全 定期試験へのフィードバック	講義	予習：テキスト第 9 章を読ん でく る。	60 分	倉岡
先行履修 科目					
テキスト		松下由美子他編集：ナーシング・グラフィカ 看護の統合と実践②医療安全. メディカ出版, 2016.			
参考文献		河野龍太郎：医療におけるヒューマンエラー. 医学書院, 2014. 相馬孝博：ねころんで読める WHO 患者安全カリキュラムガイド. メディカ出版, 2013. 兵藤好美, 細川京子：医療安全に活かす KYT, メヂカルフレンド社, 2012.			
評価方法		グループワークなど授業への参加度（20%）定期試験（80%）により総合的に評価する。			
教員等の 実務経験		看護管理者として臨床経験のある教員が、その経験を活かして、安全に看護を提供するための 基礎的知識について講義します。			
メッセージ		人間はエラーを誘発しやすい特性を持っています。看護師は 24 時間・365 日ベッドサイドで看 護を行ない、患者の最も近くにいる存在です。患者も私たち看護師も安全で安心な環境で過 すことができるように、医療安全の知識を深めていきましょう。			